

I. 紀伊半島 = 靈性の大地 への "道"

異 好幸氏



1954年大阪生まれ。理学博士（東京大学）。京都大学総合人間学部教授、同大学院理学研究科教授、東京大学海洋研究所教授、海洋研究開発機構プログラムディレクター、神戸大学海洋底探査センター教授、同大学高等研究院海共生研究アライアンス長などを歴任。

水惑星地球の進化や超巨大噴火のメカニズムを「マグマ学」の視点で考えている。日本地質学会賞、日本火山学会賞、米国地球物理学連合ボーエン賞、井植文化賞などを受賞。主な一般向け著書として『地球の中心で何が起きているのか』『富士山大噴火と阿蘇山大爆発』（幻冬舎新書）、『地震と噴火は必ず起こる』（新潮選書）、『なぜ地球だけに陸と海があるのか』『和食はなぜ美味しいー日本列島の贈り物』（岩波書店）など。NHKスペシャル「ジオ・ジャパン」シリーズ、MBS「情熱大陸」など出演・監修、多数。「美食地質学」の創始者でもある。

II. 巡礼の "道" (川の"道")

熊野本宮大社 宮司
九鬼 家隆氏

昭和31年、和歌山県生まれ。
昭和54年、國學院大學文学部神道学科を卒業後、明治神宮奉職。
昭和60年、熊野本宮大社奉職。
平成13年、熊野本宮大社宮司就任。
平成28年3月、和歌山県神社庁長就任。
平成29年、一般社団法人茶道裏千家淡交会南紀支部長就任。

熊野川川船語り部・熊野本宮語り部の会、ジオ語り部
西浦 康代氏

和歌山県新宮市生まれ、京都佛教大学卒
22年間、東京でテレビドラマ制作に携わる。「古畑任三郎」「奇妙な物語」「王様のレストラン」等作品は多数。熊野に帰郷し2004年から、熊野古道や熊野川を語り部として活動。併せて、今熊野比丘尼（いまくまのびくに）として、熊野観心十界図(地獄絵図)や熊野参詣曼荼羅の絵解きとして各地で活動している。

丹生都比売神社 宮司
丹生 晃市氏

東京生まれ。國學院大學文学部神道学科卒業。神社本庁に勤務。昭和60年から丹生都比売神社権禰宜兼務を経て、平成18年宮司就任。累代の惣神主家から九州に分家した血筋に当たる。また神社を中心とした地域の活性化や、和歌山の「いのりとみのり」をテーマにした観光誘致活動に取り組むなど、活動の幅は広範囲に渡っている。

日本史学者
寺西 貞弘氏

大阪府摂津市生まれ。1978年関西大学文学部史学科（日本古代史）卒業、1983年同大学院博士課程後期課程満期退学、1989年「古代天皇制史論 皇位継承と天武朝の皇室」で文学博士。1984年11月和歌山市立博物館学芸員。同館学芸課長、副館長、2002年館長、2015年有田市郷土資料館学芸員

moderator

國學院大學観光まちづくり学部
観光まちづくり学科 学部長
西村 幸夫氏



1952年、福岡市生まれ。東京大学都市工学科卒、同大学院修了。明治大学助手、東京大学助教授を経て、1996年より東京大学教授。2018年3月に東京大学を退官後、東京大学名誉教授。アジア工科大学助教授（バンコク）、MIT客員研究員、コロンビア大学客員研究員、フランス国立社会科学高等研究院客員教授、日本イコモス国内委員会委員長などを歴任。専門は都市計画、都市保全計画、都市景観計画など。工学博士。神戸芸術工科大学教授を経て、2020年より國學院大學教授、2022年4月より同観光まちづくり学部長、現在に至る。和歌山県景観審議会委員長

Ⅲ. 霊性の大地の未来への "道"



和歌山県知事
岸本 周平 氏

昭和44年（1969年）和歌山市立広瀬小学校卒業
昭和47年（1972年）和歌山市立城東中学校卒業
昭和50年（1975年）和歌山県立桐蔭高等学校卒業
昭和55年（1980年）東京大学法学部卒業
昭和55年（1980年）大蔵省入省
平成12年（2000年）通商産業省 情報処理システム開発課長
平成13年（2001年）経済産業省 文化情報関連産業課長
平成14年（2002年）財務省 理財局 国庫課長
平成16年（2004年）財務省退官、トヨタ自動車株式会社渉外部長
平成16年（2004年）内閣府政策参与兼務
平成21年（2009年）第45回衆議院選挙にて1期目当選（連続5期当選）
平成24年（2012年）経済産業大臣政務官、内閣府大臣政務官
令和4年（2022年）衆議院議員を辞職
令和4年（2022年）和歌山県知事選挙にて当選



東京大学 先端科学技術研究センター
和歌山パビリオン総合ディレクター
吉本 英樹 氏

1985年和歌山県生まれ。2010年東京大学大学院修士課程修了（航空宇宙工学専攻）。同年に渡英し、2016年英ロイヤル・カレッジ・オブ・アート博士課程修了（Innovation Design Engineering専攻）。2015年にデザインエンジニアリングスタジオ「Tangent」設立。デザインとテクノロジーを融合させる手法でさまざまな作品を発表し、世界的ラグジュアリーブランドにも多くのデザインを提供。日本人工知能学会全国大会優秀賞、IPA未踏ソフトウェア事業スーパークリエイター認定、Lexus Design Award、Red-dot Design Concept Best of the Best、和歌山県文化奨励賞など、デザインと工学の両分野で受賞多数。2020年、東京大学・先端科学技術研究センター特任准教授に着任し、先端アートデザイン分野を共同設立。ロンドンと東京をベースにさらに活動の幅を広げる。



株式会社YeeY 共同創業者・代表取締役
アステリア株式会社 Chief Well-being Officer
一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会 代表理事
島田 由香 氏

慶應義塾大学卒業後、パナソルを経て、コロンビア大学大学院にて組織心理学修士号取得。2014年ユニバーパ・ジャパン取締役人事総務本部長に就任。人のモチベーションに着目し「WAA」など独自の人事施策を多数実行、同社はForbes WOMEN AWARDを3年連続受賞した。2017年に株式会社YeeYを共同創業し代表取締役に就任。日本企業や社会のウェルビーイングリテラシー向上に貢献。また、自身も1年の半分近くをワーケーション先で過ごすなど地域活性に情熱を燃やし、地方自治体の組織コンサルティングやワーケーションなどのコンテンツ開発支援、地域住民のウェルビーイングを高める仕組みづくりを行う。



和歌山大学経済学部教授副学長
足立 基浩 氏

1968年生まれ東京出身。2001年ケンブリッジ大学大学院土地経済学研究科にて博士号（Ph D）を取得。専門分野はまちづくり、地方創生等。学生とともに和歌山市内でカフェを経営（2005年より現在まで）。主な出版物は「シャッター通り再生計画（ミネルヴァ書房）2010年」で、2012年不動産協会賞を受賞。近著では、晃洋書房から「新型コロナとまちづくり（2021年2月）」と学芸出版社から「まちづくりの統計学（2022年2月）」を出版（13章『シャッター通り再生に統計を活かす』を担当）。内閣府「中心市街地評価活性化推進委員会」座長、2023年5月から中小企業庁「商業近代化研究会」会長、2023年1月から中小企業庁「持続可能なまちづくりに向けた有識者勉強会」委員（2022年10月～）、経済産業省「人材育成委員会」（2018年）委員、国土交通省「まちづくり活動の担い手のあり方検討会」（2017年）、座長日本商工会議所「補助金に頼らないまちづくりタスクフォース（2018年から現在まで）」座長、内閣府「中心市街地活性化推進委員会（2013年）」委員、官民連携まちづくり研究会（2014年より国交省、京都大学との連携講座）座長

moderator

日本経済新聞社総合解説センター
編集委員／
和歌山大学大学院
観光学研究科在学中

中村 奈都子 氏



日本経済新聞社では東京・大阪・名古屋で主に企業取材と消費者取材を担当。98年に連載した日経一面企画「女たちの静かな革命」の取材班メンバーとして、多様な生き方を選び始めた女性たちを取材。2017年に創刊したNIKKEI The STYLEの初代編集長を経て19年4月から月曜朝刊「女性面」編集長、21年4月から現職。仕事では働き方改革や少子化対策、キャリア形成、ダイバーシティ推進に取り組む一方、和歌山大学では地域活性化について勉強中。消費生活アドバイザー、キャリアコンサルタント。